

歴史の息づく 水郷の商都を歩く



秋晴れのもと、古い家並が続く市内をのんびりと……

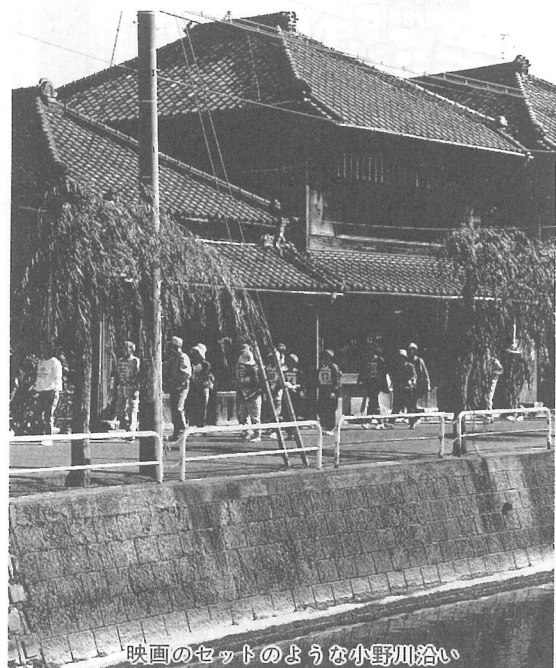
ふれあいウォーク

第4回ふれあいウォークが10月18日に美しい水郷の商都、佐原市で行われました。コースは約8kmで佐原駅が発着点となりました。

参加者は130名。午前7時30分、文化会館に集合すると佐原までは電車で向かいました。電車の中では車窓からの景色を楽しむ人、友達同士で話をする人など思い思いに時を過ごしていました。

10時02分佐原駅に到着。歩くには絶好の日和となりよいよ出発です。

さわやかな秋空の下、最初に向かったのは、世界的な測量の大家である伊能忠敬の銅像です。駅前の繁華街を抜けると10分くらいで着きました。銅像の前で写真を撮る参加者



映画のセットのような小野川沿い

もいましたが、少し休憩したあと、椎の木に囲まれた高台にある諏訪神社、そして市民の憩いの場である佐原公園を廻ると、次の目的地、伊能忠敬の記念館へと向かいました。

記念館は、古い商家や土蔵などが建ち並ぶ小野川沿いに

あり、館長から説明を聞いたあと、寛政5年に建てられた旧宅や、記念館を見学しました。

館内には多数の測量器具や測量図などが展示されていますが、参加者は忠敬が作成した日本地図が、現在のものと比較して、誤差の極めて少ないことに驚いていました。

小野川沿いをさらに歩くと昼食場所の山車会館に到着です。みなさん思い思いの場所でお弁当を広げ、食事を済ませると、佐原の祭には欠かせない山車や、祭に関する資料などが展示されている館内を